

決算補足説明資料 2016年度 決算

2017年5月10日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード: 4508



本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2016年度 決算の概要		
	1. 2016年度 業績サマリー	2. 2017年度 業績予想サマリー	3. 配当金
			2
2	2016年度 連結決算について		
	1. 損益状況		3
	① 損益実績		3
	② 主要製品売上収益		4
	2. 財務状況		5
	① 資産・負債・資本の状況		5
	② キャッシュ・フロー計算書		6
	③ 設備投資／情報システム開発投資	④ 減価償却費および償却費	7
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数		7
3	2017年度 業績予想について		
	① 損益予想		8
	② 主要製品売上収益予想		9
	③ 設備投資／情報システム開発投資予想	④ 減価償却費および償却費予想	10
4	5か年連結財務数値		
	日本基準	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値	11
	IFRS	① 損益計算書 ② 財政状態計算書 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移		
	① 損益計算書		13
	② 主要製品売上収益		14
6	新製品開発状況について(2017年5月10日現在)		
	① 自己免疫疾患	② 糖尿病・腎疾患	15
	③ 中枢神経系疾患	④ ワクチン	16
	⑤ その他疾患		17
	2016年度第3四半期決算発表時点(2017年2月6日)からの変更点		18
	新製品開発状況補足資料(2017年5月10日現在)		19
	① 自己免疫疾患	② 糖尿病・腎疾患	19
	③ 中枢神経系疾患	④ ワクチン ⑤ その他疾患	20
7	その他		
	1. 関係会社		21
	① 関係会社数	② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社およびジョイントベンチャー一覧	21
	2. 株式の状況		22
	① 発行済株式数	② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	22
	④ 配当金／株価推移		22
参考	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース		23

1 2016年度決算の概要

(億円未満切り捨て)

1. 2016年度 業績サマリー

売上収益	4,239 億円	前期比	△ 17 億円	△ 0.4 %
○国内	3,203 億円	前期比	49 億円	1.6 %
○海外	1,036 億円	前期比	△ 67 億円	△ 6.1 %

売上収益は、前期比△0.4%、17億円減収の4,239億円となりました。

国内医療用医薬品は、2016年4月の薬価改定の影響があったものの、関節リウマチ治療剤「シンボニー」が大幅に伸長したほか、2型糖尿病治療剤「テネリア」やアレルギー性疾患治療剤「タリオン」等、重点品が伸長し、前期比2.0%増収の3,142億円となりました。

ロイヤリティ収入等については、ノバルティス社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」に係るロイヤリティ収入は順調に伸長しましたが、ヤンセンファーマシューティカルズ社に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入は為替の影響により減少しました。また、導出契約に係る一時金収入等の一時的な収益も減少したことにより、ロイヤリティ収入等の合計は、前期比で5.1%減収の822億円となりました。

コア営業利益	945 億円	前期比	△ 124 億円	△ 11.7 %
--------	--------	-----	----------	----------

コア営業利益は、減収に加え、米国事業展開準備費用の増加等により、前期比△11.7%、124億円減益の945億円となりました。

営業利益	940 億円	前期比	122 億円	15.0 %
------	--------	-----	--------	--------

営業利益は、前期比+15.0%、122億円増益の940億円となりました。

前期に早期退職実施に伴う割増退職金などの構造改革費用を計上しました非経常項目が、当期は大幅に改善したため、増益となりました。

税引前当期利益	960 億円	前期比	128 億円	15.4 %
---------	--------	-----	--------	--------

親会社の所有者に 帰属する当期利益	712 億円	前期比	119 億円	20.2 %
----------------------	--------	-----	--------	--------

税引前当期利益は、前期比+15.4%、128億円増益の960億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比+20.2%、119億円増益の712億円となり、過去最高益を達成しました。

2. 2017年度 業績予想サマリー

売上収益	4,410 億円	前期比	170 億円	4.0 %
コア営業利益	900 億円	前期比	△ 45 億円	△ 4.8 %
営業利益	900 億円	前期比	△ 40 億円	△ 4.3 %
税引前利益	910 億円	前期比	△ 50 億円	△ 5.3 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	715 億円	前期比	2 億円	0.3 %

3. 配当金

	2017年度(予想)			2016年度		
	上期末	期末	年間	上期末	期末	年間
1株当たり配当金(円)	38	28	66	24	28	52
(うち、記念配当金)	(10)	-	(10)	-	-	-
配当性向	-	-	51.8%	-	-	40.9%

当社は、本年10月1日に発足10周年を迎えるにあたり、これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当を実施する予定です。

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2016年度	前期比較			予想比較			主なポイント (前期比較)
		2015年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	4,239	4,257	△ 17	△ 0.4	4,250	△ 10	△ 0.3	P4「②主要製品売上収益」参照
国内	3,203	3,154	49	1.6	3,220	△ 16	△ 0.5	国内重点製品の売上が堅調に伸 長し、薬価改定による影響をカバー 海外売上収益比率 2016年度:24.4% 2015年度:25.9%
海外	1,036	1,103	△ 67	△ 6.1	1,030	5	0.6	
売上原価	1,643	1,558	85	5.5	1,630	13	0.9	薬価改定の影響、ロイヤリティ収入 等の減少およびシンボニー増販等 製品構成の変化による売上原価率 上昇
売上原価率	38.8%	36.6%			38.3%			
売上総利益	2,595	2,699	△ 103	△ 3.8	2,620	△ 24	△ 0.9	
販管費	983	963	19	2.0	980	3	0.3	米国事業準備費用増加
販管費比率	23.2%	22.6%			23.1%			
研究開発費	647	646	1	0.3	650	△ 2	△ 0.3	
研究開発費比率	15.3%	15.2%			15.3%			
製品に係る無形資産償却費	15	14	0	3.7	15	0	1.9	
その他損益(注2)	△ 4	△ 5	0	-	△ 5	0	-	
コア営業利益	945	1,069	△ 124	△ 11.7	970	△ 24	△ 2.6	
非経常項目(注2)	△ 4	△ 251	247	-	△ 10	5	-	前期:早期退職に伴う構造改革費 用が発生
営業利益	940	818	122	15.0	960	△ 19	△ 2.0	
金融収益	22	29	△ 7	△ 26.1	-	-	-	
受取利息・受取配当金	18	29	△ 10	△ 37.1	-	-	-	
為替差益	2	-	2	-	-	-	-	
その他	1	0	1	342.4	-	-	-	
金融費用	2	15	△ 13	△ 84.7	-	-	-	
支払利息	1	2	△ 0	△ 10.4	-	-	-	
為替差損	-	4	△ 4	-	-	-	-	
その他	0	8	△ 8	△ 93.7	-	-	-	
税引前利益	960	832	128	15.4	975	△ 14	△ 1.5	
法人所得税	271	262	9	3.5	-	-	-	
当期利益	689	570	118	20.8	-	-	-	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	712	593	119	20.2	720	△ 7	△ 1.0	
総人件費	727	807	△ 80	△ 9.9	720	7	1.0	

(注1) 2017年2月6日に公表した2016年度通期業績予想

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

(単位:円)

為替レート	2016年度 平均レート	2015年度 平均レート	2016年度 下期修正計画レート
米ドル	108.72	120.16	110.00
ユーロ	118.68	132.53	115.00

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2016年度	前期比較			予想比較		
		2015年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,142	3,080	61	2.0	3,145	△ 3	△ 0.1
レミケード	668	694	△ 26	△ 3.7	664	4	0.6
シンボニー	249	129	119	92.9	254	△ 5	△ 2.2
タリオン	189	168	20	12.3	191	△ 1	△ 0.9
テネリア(注2)	165	141	24	17.1	174	△ 8	△ 5.0
レクサプロ	112	95	17	18.6	125	△ 12	△ 10.1
セレジスト	123	141	△ 18	△ 13.2	123	△ 0	△ 0.1
メインテート	118	134	△ 16	△ 12.1	114	4	3.5
クレメジン	75	92	△ 17	△ 18.4	74	1	1.5
デパス	61	72	△ 11	△ 15.3	62	0	△ 1.5
ウルソ	61	81	△ 20	△ 25.1	60	1	1.8
ラジカット	58	72	△ 14	△ 19.3	59	△ 0	△ 1.0
ワクチン	389	390	△ 1	△ 0.3	376	13	3.5
インフルエンザ	127	137	△ 9	△ 7.1	120	7	6.6
テトラビック	99	95	4	4.5	97	1	1.9
ミールビック	59	49	9	18.8	57	1	3.1
水痘ワクチン	54	63	△ 8	△ 14.0	55	0	△ 0.8
田辺製薬販売取扱品(注3)	141	138	3	2.4	144	△ 2	△ 1.9
海外医療用医薬品	226	247	△ 20	△ 8.2	212	14	6.9
ヘルベッサー	60	64	△ 4	△ 6.7	58	1	3.3
アルガトロバン(ノバスタン)	19	23	△ 3	△ 14.8	17	2	13.7
タナトリル	16	15	1	6.9	15	1	7.1
シンボニー	14	12	1	13.2	13	1	12.4
ロイヤリティ収入等	822	866	△ 44	△ 5.1	833	△ 11	△ 1.4
ジレニア ロイヤリティ	537	517	20	3.9	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	188	206	△ 17	△ 8.5	非開示	-	-
一般用医薬品	34	37	△ 3	△ 9.3	43	△ 9	△ 21.4
その他(注4)	14	25	△ 11	△ 44.8	14	△ 0	△ 5.6
売上収益合計	4,239	4,257	△ 17	△ 0.4	4,250	△ 10	△ 0.2

(注1) 2017年2月6日に公表した2016年度業績予想数値

(注2) テネリアの前年度の売上は、新旧スキームの合算値を示しております。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2016年度 末	構成比%	2015年度 末	増減額	主なポイント
資産	9,845	100.0	9,584	260	
非流動資産	3,007	30.6	3,082	△ 74	
有形固定資産	858	8.7	840	17	設備投資+126億円、減価償却△73億円、除売却△21億円など
のれん	803	8.2	805	△ 1	
無形資産	612	6.2	559	52	為替影響、製品に係る無形資産償却など
持分法で会計処理されている投資	2	0.0	2	△ 0	
その他の金融資産	516	5.2	655	△ 138	流動金融資産への振替及び株式時価評価減少△122億円
退職給付に係る資産	147	1.5	81	65	年金資産時価評価等+57
その他の非流動資産	4	0.0	6	△ 1	
繰延税金資産	62	0.6	131	△ 68	繰延収益の一括計上等
流動資産	6,837	69.4	6,501	335	
棚卸資産	791	8.0	756	34	レミケード等一部製品の在庫増
売上債権(注1) (営業債権回転月数)	1,168 (3.31)	11.9	1,212 (3.42)	△ 43	
その他の金融資産	3,542	36.0	3,516	25	
その他の流動資産	91	0.9	125	△ 33	
現金及び現金同等物	1,132	11.5	889	242	非流動金融資産からの振替等による増加 P6「② キャッシュ・フロー計算書」参照
売却目的で保有する資産	110	1.1	1	109	
負債	1,131	11.5	1,321	△ 190	
非流動負債	247	2.5	332	△ 85	
借入金	5	0.1	7	△ 1	
その他の金融負債	24	0.2	26	△ 2	
退職給付に係る負債	10	0.1	13	△ 2	
引当金	78	0.8	91	△ 12	
その他の非流動負債	55	0.6	119	△ 64	導出に伴う繰延収益等
繰延税金負債	71	0.7	74	△ 2	
流動負債	884	9.0	989	△ 105	
借入金	1	0.0	1	0	
営業債務(注2)	357	3.6	326	30	
その他の金融負債	241	2.5	274	△ 33	
未払法人所得税	48	0.5	163	△ 115	
引当金	0	0.0	1	△ 0	
その他の流動負債	203	2.1	221	△ 18	
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	31	0.3	-	31	
資本	8,714	88.5	8,263	451	
資本金	500	5.1	500	-	
資本剰余金	4,511	45.8	4,511	0	
自己株式	△ 4	△ 0.1	△ 4	△ 0	
利益剰余金	3,534	35.9	3,049	484	当期利益712億円、配当金支払△269億円
その他の資本の構成要素	63	0.6	98	△ 35	
非支配持分	109	1.1	107	1	

(注1) 売上債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注2) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2016年度	2015年度	増減額
現金及び現金同等物期首残高	889	733	155
営業キャッシュ・フロー	597	808	△ 210
税引前利益	960	832	128
減価償却費及び償却費	104	103	1
減損損失	1	60	△ 58
受取利息及び受取配当金	△ 18	△ 29	10
持分法による投資利益(△は益)	△ 0	△ 0	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△ 0	△ 7	6
構造改革費用	4	163	△ 158
営業債権の増減額(△は増加)	△ 20	86	△ 107
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 78	62	△ 141
営業債務の増減額(△は減少)	49	△ 16	66
引当金の増減額(△は減少)	△ 12	23	△ 36
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 8	△ 13	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△ 1	△ 8	6
繰延収益の増減額(△は減少)	△ 72	59	△ 132
利息・配当金の受取額	19	29	△ 10
利息の支払額	△ 1	△ 3	1
特別退職金の支払額	-	△ 152	152
法人所得税の支払額	△ 324	△ 337	13
その他	△ 3	△ 44	40
投資キャッシュ・フロー	△ 105	△ 422	316
定期預金の預入による支出	△ 6	△ 1,500	1,493
定期預金の払戻による収入	1,184	564	620
有形固定資産の取得による支出	△ 142	△ 118	△ 23
有形固定資産の売却による収入	23	27	△ 4
無形資産の取得による支出	△ 66	△ 173	106
投資の取得による支出	△ 3,099	△ 1,430	△ 1,669
投資の売却及び償還による収入	1,974	2,143	△ 169
会社分割による収入	-	33	△ 33
事業譲渡による収入	30	30	0
その他	△ 3	1	△ 4
財務キャッシュ・フロー	△ 244	△ 222	△ 21
非支配株主からの払込による収入	28	27	0
配当金の支払額	△ 269	△ 246	△ 22
その他	△ 2	△ 3	0
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△ 5	△ 8	3
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 0	-	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	243	155	87
現金及び現金同等物期末残高	1,132	889	242

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2016年度	2015年度	増減額
設備投資額／発生ベース	126	112	14
システム投資額／発生ベース	18	9	8

2016年度の主な設備投資		2016年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	31億円	田辺三菱製薬	13億円
田辺三菱製薬工場 (吉富工場新製剤棟建設)	79億円 (62億円)		

④ 減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2016年度	2015年度	増減額
有形資産	73	72	0
無形資産(製品に係るものを除く)	15	15	0
製品に係る無形資産	15	14	0

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱 製薬工場	田辺製薬販売	ミツビシタナベファーマ ホールディングスアメリカ	メディカゴ	天津田辺製薬	ミツビシタナベ ファーマコリア
売上収益	2016年度	295	141	84	3	50	48
	2015年度	289	138	44	2	52	45
営業利益	2016年度	18	3	6	△ 63	2	4
	2015年度	13	△ 7	△ 0	△ 61	2	2
当期利益	2016年度	14	2	4	△ 64	0	3
	2015年度	9	△ 6	△ 2	△ 63	△ 0	2
研究開発費	2016年度	7	-	34	67	2	-
	2015年度	7	-	32	62	2	-
有形固定資産 減価償却費	2016年度	20	0	1	4	1	0
	2015年度	18	0	1	4	1	0
資産合計	2016年度末	473	66	191	327	52	40
	2015年度末	485	63	178	331	53	36
資本合計	2016年度末	378	0	169	224	31	31
	2015年度末	371	1	165	226	32	28
従業員数(人)	2016年度末	726	126	143	321	543	127
	2015年度末	839	156	85	291	562	128

(注)上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

3 2017年度 業績予想について

(億円未満切り捨て)

① 損益予想

(単位:億円)

	2017年度 上期予想	2017年度 通期予想	前期比較			主なポイント(前期比較)
			2016年度実績	増減額	増減率%	
売上収益	2,125	4,410	4,239	170	4.0	P9「②主要製品売上収益予想」参照 海外売上収益比率 2016年度:24.4% 2017年度予想:26.2%
国内	1,587	3,255	3,203	51	1.6	
海外	537	1,155	1,036	118	11.5	
売上原価	825	1,695	1,643	51	3.1	
売上原価率	38.8%	38.4%	38.8%			
売上総利益	1,300	2,715	2,595	119	4.6	
販管費	520	1,050	983	66	6.8	
販管費比率	24.5%	23.8%	23.2%			
研究開発費	355	735	647	87	13.5	
研究開発費比率	16.7%	16.7%	15.3%			
製品に係る無形資産償却費	10	25	15	9	63.6	
その他損益(注1)	-	△ 5	△ 4	△ 0	-	
コア営業利益	415	900	945	△ 45	△ 4.8	
非経常項目(注1)	△ 10	-	△ 4	4	-	
営業利益	405	900	940	△ 40	△ 4.3	
税引前利益	410	910	960	△ 50	△ 5.3	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	325	715	712	2	0.3	
総人件費	363	728	727	0	0.1	

(注1) 費用・損失の場合に△表示しております。

為替レート

	2017年度 想定レート	2016年度 平均レート
米ドル	110.00	108.72
ユーロ	115.00	118.68

② 主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2017年度 上期予想	2017年度 通期予想	前期比較		
			2016年度 実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	1,542	3,154	3,142	12	0.4
レミケード	326	647	668	△ 21	△ 3.2
シンボニー	139	290	249	40	16.5
タリオン	82	208	189	18	9.7
テネリア	86	191	165	25	15.4
レクサプロ	61	129	112	16	14.6
セレジスト	56	108	123	△ 14	△ 11.7
メインテート	52	102	118	△ 16	△ 13.5
カナグル	30	69	-	-	-
クレメジン	34	66	75	△ 9	△ 11.9
ラジカット	30	62	58	3	5.9
ウルソ	26	50	61	△ 10	△ 17.2
ワクチン	150	391	389	2	0.5
インフルエンザ	24	141	127	13	10.4
テトラビック	44	92	99	△ 7	△ 7.5
水痘ワクチン	28	57	54	3	5.5
ミールビック	26	52	59	△ 6	△ 10.6
田辺製薬販売取扱品(注1)	69	69	141	△ 72	△ 51.1
海外医療用医薬品	129	324	226	98	43.2
ヘルベッサー	33	68	60	8	13.6
アルガトロバン(ノバスタン)	9	19	19	△ 0	△ 3.0
シンボニー	7	16	14	1	11.2
タナトリル	8	15	16	△ 1	△ 6.1
ロイヤリティ収入等	417	874	822	52	6.3
ジレニア ロイヤリティ	非開示	非開示	537	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	非開示	188	-	-
一般用医薬品	32	50	34	16	49.2
その他(注2)	3	5	14	△ 8	△ 57.9
売上収益合計	2,125	4,410	4,239	170	4.0

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。ジェネリック事業は、2017年10月1日にニプロ社に事業譲渡予定です。

(注2) 他社製品の製造受託品等

③ 設備投資／情報システム開発投資予想 (単位:億円)

	2017年度 上期予想	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	39	69	126	△ 57	△ 45.5
システム投資額／発生ベース	9	24	18	5	32.3

2017年度の主な設備投資予定		2017年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	31億円	研究開発関係システム	9億円
研究開発関係設備	29億円	生産関係システム	1億円
その他	8億円	その他	14億円

④ 減価償却費および償却費予想 (単位:億円)

	2017年度 上期予想	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績	増減額	増減率%
有形資産	41	84	73	10	14.6
無形資産(製品に係るものを除く)	7	16	15	0	0.2
製品に係る無形資産	10	25	15	9	63.6

4 5ヵ年連結財務数値

日本基準 (億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	4,192	4,127	4,151	4,317
売上原価	1,664	1,694	1,696	1,558
売上総利益	2,528	2,433	2,455	2,759
販管費	1,838	1,842	1,784	1,810
研究開発費	665	704	696	753
営業利益	690	591	671	949
経常利益	694	619	677	948
特別利益	42	153	137	141
特別損失	59	48	186	246
親会社株主に帰属する当期純利益	419	454	395	564

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末
総資産	8,668	8,865	9,293	9,302
流動資産	4,767	5,405	6,036	6,573
固定資産	3,901	3,460	3,257	2,730
負債	1,139	1,086	1,289	1,135
流動負債	861	818	1,054	913
固定負債	277	268	235	222
純資産	7,529	7,778	8,004	8,167

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
営業キャッシュ・フロー	606	699	682	652
投資キャッシュ・フロー	△ 350	△ 243	△ 598	△ 266
財務キャッシュ・フロー	△ 237	△ 211	△ 219	△ 222
設備投資	92	126	157	112
情報システム開発投資	22	21	16	9
減価償却費	84	92	90	88
自己資本比率(%)	86.3	86.4	84.9	86.6
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.7	6.0	5.1	7.1
1株当たり当期純利益(円)	74.67	80.92	70.41	100.60
1株当たり純資産(円)	1,333.22	1,365.52	1,406.41	1,436.63

IFRS (億円未満切り捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度予想
売上収益	4,257	4,239	4,410
売上原価	1,558	1,643	1,695
売上総利益	2,699	2,595	2,715
販管費	963	983	1,050
研究開発費	646	647	735
コア営業利益	1,069	945	900
営業利益	818	940	900
税引前利益	832	960	910
当期利益	570	689	680
親会社の所有者に帰属する当期利益	593	712	715

② 財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度末
資産	9,584	9,845
非流動資産	3,082	3,007
流動資産	6,501	6,837
負債	1,321	1,131
非流動負債	332	247
流動負債	989	884
資本	8,263	8,714

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度予想
営業キャッシュ・フロー	808	597	-
投資キャッシュ・フロー	△ 422	△ 105	-
財務キャッシュ・フロー	△ 222	△ 244	-
設備投資	112	126	69
情報システム開発投資	9	18	24
減価償却費および償却費	103	104	125
親会社所有者帰属持分比率(%)	85.1	87.4	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.5	-
基本的1株当たり当期利益(円)	105.72	127.03	127.45
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,453.71	1,533.91	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末予想
連結	8,835	9,065	8,457	8,125	7,280	7,240
単体	4,850	4,867	4,844	4,780	4,239	4,250

5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2015年度					2016年度					2017年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
売上収益	986 23.2%	1,034 24.3%	1,324 31.1%	912 21.4%	4,257 100.0%	1,054 24.9%	986 23.3%	1,202 28.4%	996 23.5%	4,239 100.0%	4,410
国内	764 24.2%	747 23.7%	951 30.2%	690 21.9%	3,154 100.0%	804 25.1%	749 23.4%	932 29.1%	716 22.4%	3,203 100.0%	3,255
海外	222 20.1%	286 26.0%	372 33.8%	222 20.1%	1,103 100.0%	250 24.2%	236 22.8%	269 26.0%	279 27.0%	1,036 100.0%	1,155
売上原価 売上原価率	354 36.0%	376 36.4%	477 36.0%	349 38.3%	1,558 36.6%	400 38.0%	383 38.9%	486 40.4%	374 37.6%	1,643 38.8%	1,695 38.4%
売上総利益	631 23.4%	657 24.4%	847 31.4%	562 20.8%	2,699 100.0%	654 25.2%	603 23.2%	716 27.6%	621 24.0%	2,595 100.0%	2,715
販管費	217 22.5%	246 25.6%	240 24.9%	259 26.9%	963 100.0%	215 22.0%	250 25.5%	243 24.8%	272 27.7%	983 100.0%	1,050
研究開発費	156 24.2%	162 25.1%	147 22.8%	179 27.8%	646 100.0%	145 22.4%	158 24.4%	147 22.8%	197 30.4%	647 100.0%	735
製品に係る無形資産 償却費	3 25.1%	3 25.1%	3 25.1%	3 24.8%	14 100.0%	3 24.1%	3 24.1%	3 24.2%	4 27.6%	15 100.0%	25
その他損益(注1)	△ 2 -	△ 0 -	△ 0 -	△ 2 -	△ 5 -	0 -	△ 0 -	△ 1 -	△ 2 -	△ 4 -	△ 5
コア営業利益	252 23.6%	245 22.9%	455 42.6%	116 10.9%	1,069 100.0%	290 30.7%	189 20.0%	319 33.9%	145 15.4%	945 100.0%	900
営業利益	252 30.8%	240 29.4%	305 37.3%	19 2.4%	818 100.0%	292 31.0%	186 19.8%	319 34.0%	143 15.2%	940 100.0%	900
税引前(四半期)利益	254 30.6%	242 29.1%	313 37.7%	21 2.6%	832 100.0%	302 31.5%	191 19.9%	320 33.4%	145 15.2%	960 100.0%	910
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	184 31.2%	172 29.0%	234 39.6%	1 0.2%	593 100.0%	219 30.7%	143 20.2%	238 33.5%	110 15.5%	712 100.0%	715

※ 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 費用・損失の場合に△表示しております。

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2015年度					2016年度					2017年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
国内医療用医薬品	742 24.1%	730 23.7%	933 30.3%	673 21.9%	3,080 100.0%	784 25.0%	735 23.4%	913 29.1%	708 22.5%	3,142 100.0%	3,154
レミケード	168 24.3%	176 25.4%	195 28.1%	154 22.2%	694 100.0%	173 26.0%	164 24.7%	182 27.3%	147 22.1%	668 100.0%	647
シンボニー	30 23.4%	31 24.4%	36 28.0%	31 24.2%	129 100.0%	63 25.3%	58 23.6%	69 27.9%	57 23.2%	249 100.0%	290
タリオン	35 21.1%	28 17.0%	47 28.1%	57 33.8%	168 100.0%	41 21.7%	33 17.7%	52 27.8%	62 32.9%	189 100.0%	208
テネリア(注1)	29 21.0%	37 26.1%	42 30.1%	32 22.8%	141 100.0%	38 23.4%	41 25.3%	51 31.0%	33 20.3%	165 100.0%	191
レクサプロ	21 22.5%	22 23.6%	30 31.9%	20 22.0%	95 100.0%	28 25.4%	26 23.7%	31 28.3%	25 22.6%	112 100.0%	129
セレジスト	38 27.4%	34 24.6%	40 28.7%	27 19.3%	141 100.0%	35 28.9%	29 23.8%	33 27.3%	24 20.0%	123 100.0%	108
メインテート	36 27.4%	32 24.0%	37 27.9%	28 20.8%	134 100.0%	33 28.3%	27 23.4%	32 27.3%	24 21.1%	118 100.0%	102
クレメジン	25 27.2%	22 24.8%	25 27.7%	18 20.3%	92 100.0%	21 28.1%	18 24.5%	20 27.1%	15 20.3%	75 100.0%	66
デパス	19 26.7%	17 24.3%	20 27.7%	15 21.2%	72 100.0%	17 28.3%	15 25.0%	15 25.9%	12 20.9%	61 100.0%	非開示
ウルソ	23 29.0%	20 24.8%	22 27.1%	15 19.0%	81 100.0%	17 28.6%	14 24.2%	16 26.6%	12 20.5%	61 100.0%	50
ラジカット	16 22.8%	17 24.3%	21 30.2%	16 22.7%	72 100.0%	15 27.2%	14 24.1%	16 28.5%	11 20.3%	58 100.0%	62
ワクチン	62 16.1%	82 21.0%	170 43.6%	75 19.3%	390 100.0%	73 18.8%	91 23.5%	146 37.5%	78 20.1%	389 100.0%	391
インフルエンザ	△ 0 △ 0.2%	28 20.4%	92 67.5%	17 12.4%	137 100.0%	△ 1 △ 0.9%	26 20.6%	85 66.6%	17 13.7%	127 100.0%	141
テトラビック	19 20.3%	17 18.1%	35 37.7%	22 23.9%	95 100.0%	27 27.7%	23 23.4%	25 25.6%	23 23.3%	99 100.0%	92
ミールビック	14 29.0%	10 21.4%	12 25.7%	11 23.8%	49 100.0%	17 29.1%	15 26.2%	12 20.6%	14 24.1%	59 100.0%	52
水痘ワクチン	17 28.1%	15 24.3%	16 25.8%	13 21.8%	63 100.0%	14 26.5%	13 25.3%	13 24.6%	12 23.7%	54 100.0%	57
田辺製薬販売 取扱品(注2)	34 24.7%	31 23.2%	39 28.7%	32 23.4%	138 100.0%	35 24.8%	33 23.5%	40 28.3%	33 23.4%	141 100.0%	69
海外医療用医薬品	61 25.0%	77 31.3%	53 21.8%	54 21.9%	247 100.0%	55 24.6%	50 22.5%	55 24.3%	65 28.7%	226 100.0%	324
ヘルバツサー	15 23.2%	16 24.7%	15 24.5%	17 27.6%	64 100.0%	15 25.0%	13 22.4%	15 25.7%	16 26.9%	60 100.0%	68
アルガトロバン (ノバスタン)	4 20.5%	7 34.3%	5 23.4%	5 21.8%	23 100.0%	5 26.8%	4 24.5%	4 25.3%	4 23.4%	19 100.0%	19
タナトリル	4 28.9%	3 23.6%	4 25.8%	3 21.7%	15 100.0%	5 34.7%	3 21.2%	3 20.5%	3 23.6%	16 100.0%	15
シンボニー	3 23.8%	3 23.2%	3 26.1%	3 26.9%	12 100.0%	3 21.5%	3 23.1%	3 25.7%	4 29.6%	14 100.0%	16
ロイヤリティ収入等	163 18.9%	211 24.4%	322 37.2%	169 19.6%	866 100.0%	198 24.1%	187 22.7%	220 26.9%	216 26.3%	822 100.0%	874
ジレニア ロイヤリティ	112 21.7%	146 28.2%	140 27.1%	118 22.9%	517 100.0%	138 25.8%	137 25.5%	144 26.9%	117 21.9%	537 100.0%	非開示
インヴォカナ ロイヤリティ	45 22.1%	53 26.0%	67 32.8%	39 19.2%	206 100.0%	49 26.4%	40 21.5%	63 33.4%	35 18.6%	188 100.0%	非開示
一般用医薬品	11 31.0%	9 24.8%	9 25.3%	7 18.9%	37 100.0%	10 29.7%	9 27.2%	9 27.7%	5 15.3%	34 100.0%	50
その他(注3)	6 26.2%	5 22.3%	5 20.8%	7 30.7%	25 100.0%	6 48.6%	3 21.8%	2 21.1%	1 8.6%	14 100.0%	5
売上収益合計	986 23.2%	1,034 24.3%	1,324 31.1%	912 21.4%	4,257 100.0%	1,054 24.9%	986 23.3%	1,202 28.4%	996 23.5%	4,239 100.0%	4,410

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) テネリアの前年度の売上は、新旧スキームの合算値を示しております。

(注2) ジェネリック医薬品その他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。
ジェネリック事業は、2017年10月1日にニプロ社に事業譲渡予定です。

(注3) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2017年5月10日現在)

① 自己免疫疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病における投与間隔の短縮)	日本	申請 (2016年9月)	ヤンセン・バイオテック(米)から 導入
イムセラ/ジレニア (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴ ニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 日本はノバルティスファーマ (日)と共同開発、海外はノバル ティス(スイス)に導出
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴ ニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
	(乾癬)	欧州	フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州	フェーズ 2	
	(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、 米国	フェーズ 1	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (炎症・自己免疫疾患 等)	欧州	フェーズ 1	自社創製品

② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント(米)
	(1型糖尿病)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社創製品 ヤンセンファーマシューティカル ズ(米)に導出
	(肥満・フェンテルミンとの併用)	米国	フェーズ 2	
MP-513 (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請 (2015年4月)	自社創製品
		中国	フェーズ 3	
		欧州	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-2412 (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物、カナグリフロジ ン水和物)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	申請 (2016年8月)	自社創製品
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
	(非アルコール性脂肪性肝炎)	日本	フェーズ 2	
MT-6548	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本	フェーズ2	アケビア(米)から導入

③ 中枢神経系疾患

治験コード(一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本、アジア	フェーズ 2b/3	ゲデオンリター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエンス(米)へ導出
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (うつ病)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエンス(米)へ導出
MP-124	神経系用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
MT-8554	神経系用剤 等	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-5199	小胞体モノアミン輸送担体2型阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本	フェーズ 1	ニューロクラインバイオサイエンス(米)から導入

*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ α 1Aと α 1Bアドレナリン受容体の調節

④ ワクチン

治験コード(一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本	フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社創製品
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社創製品
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社創製品

⑤ その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
ノバスタン (アルガトロバン水和物)	選択的抗トロンピン剤 (脳血栓症急性期)	中国	申請 (2017年2月)	自社創製品
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	申請 (2017年4月)	協和発酵キリン(日)に導出
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	千寿製薬(日)に導出
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	サマファーマ(韓)に導出
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ	フェーズ 2	メルク(米)に導出
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
MP-157	循環器官用剤	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-0814	眼科用剤	日本	フェーズ 1	自社創製品
sTU-199 (テナトプラゾール)	消化器官用剤	欧州	フェーズ 1	ネグマ/シテム(仏)に導出
MT-4129	循環器官用剤 等	欧州	フェーズ1	自社創製品

2016年度第3四半期決算発表時点(2017年2月6日)からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2017年5月10日 現在	起源/導出先等
シンボニー (ゴリムマブ [遺伝子組換え])	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (潰瘍性大腸炎)	日本	記載なし	承認 (2017年3月)	ヤンセンファーマ(日)と 共同開発
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	台湾	申請 (2015年3月)	承認 (2017年3月)	自社創製品
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	米国	申請 (2016年6月)	承認 (2017年5月)	自社創製品
ノバスタン (アルガトロバン水和物)	選択的抗トロンピン剤 (脳血栓症急性期)	中国	記載なし	申請 (2017年2月)	自社創製品
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 3	申請 (2017年4月)	協和発酵キリン(日)に 導出

新製品開発状況補足資料(2017年5月10日現在)

① 自己免疫疾患

治験コード 製品名 (一般名)	補足説明
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。日本で、2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎、腸管型・神経型・血管型ベーチェット病の治療剤としての適応も取得。
FTY720 イムセラ (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制することで免疫調整作用を発揮し、多発性硬化症におけるミエリンの破壊(脱髄)を防止する。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として製品名「イムセラ」で発売。ノバルティスが日米欧で製品名「ジレニア」で発売。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎でフェーズ3(国際共同治験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制し、自己免疫反応を抑制する。イムセラ/ジレニアの後継品。

② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	補足説明
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病の適応で、日本では製品名「カナグル」で2014年9月に発売、2017年3月に台湾で承認を取得。ヤンセンファーマシューティカルズが米国で製品名「インヴォカナ」として、また、その関係会社が欧州で販売中。メトホルミンとの合剤[即放性製剤]は欧州で2014年4月、米国で2014年8月に承認を取得した。さらに、2016年9月、米国でメトホルミンとの合剤[徐放性製剤]の承認を取得した。
MP-513 (テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない2型糖尿病治療剤。日本では、製品名「テネリア」で2012年9月に発売。
MT-2412 (テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物、 カナグリフロジン水和物)	テネリグリブチン(DPP-4阻害剤)とカナグリフロジン(SGLT2阻害剤)の合剤。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。腎保護作用を示す。
MT-6548	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤。アケビア(米)から導入。

③ 中枢神経系疾患

治験コード(一般名)	補足説明
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト。統合失調症の陽性症状に加え、陰性症状や認知機能障害にも効果が期待される。ゲデオン/ヒター(ハンガリー)より導入。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用(選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/α1Aとα1Bアドレナリン受容体の調節)。

④ ワクチン

治験コード(一般名)	補足説明
MT-2355	阪大微生物病研究会(日)と共同開発の5種混合ワクチン。 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H5N1]の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。季節性インフルエンザの予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H7N9]の予防。

⑤ その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	補足説明
ノバスタン (アルガトロバン水和物)	自社創製品の選択的抗トロンピン剤。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2016年度末	2015年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	27	28	-	増加)MTファーマタイランド 減少)広東田辺医薬、田辺アールアンドディー・サービス
非連結子会社数	-	-	-	
関連会社数	1	1	-	
合計	28	29	-	

② 連結子会社一覧

(2017年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	バイファ	100百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
4	田辺製薬吉城工場	400百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
5	田辺製薬販売	100百万円	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
6	田辺総合サービス	90百万円	100.0 (—)	3月末	宣伝物制作等
7	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
8	ミツビシ タナベ ファーマ デベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
9	MT ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
10	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
11	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U. S. A.	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
12	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 338.5 Mill.	100.0 (—)	3月末	メディカゴグループへの投資
13	メディカゴ	CAD 413.0 Mill.	60.0 (57.0)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
14	メディカゴ U. S. A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
15	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
16	田辺三菱製薬開発(北京)	USD 1Mill.	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
17	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
18	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
19	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
20	タナベ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
21	MT ファーマ シンガポール	SGD 300,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の開発
22	MT ファーマ タイランド	THB103 Mill.	100.0 (2.0)	3月末	医薬品の販売
23	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
25	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムベーパー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注) 上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

③ 持分法適用関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2017年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1.6 Mill.	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2017年3月末	2016年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	429,753	428,945
期末発行済株式数	560,988,163	560,988,971
期中平均自己株式数	429,206	428,670
期中平均株式数	560,988,710	560,989,246

② 大株主の状況

順位	株主名	2017年3月末		2016年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	25,657	4.57%	2	25,438	4.53%
3	日本生命保険	12,065	2.15%	3	12,065	2.15%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	11,439	2.04%	4	11,199	1.99%
5	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	5	7,254	1.29%
6	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	6,087	1.08%	7	5,602	1.00%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	5,477	0.98%	6	6,176	1.10%
8	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	4,483	0.80%	18	2,499	0.45%
9	CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	4,103	0.73%	39	1,264	0.23%
10	ニプロ	3,821	0.68%	10	3,821	0.68%

③ 所有者別株式数分布状況(単元株)

	2017年3月末			2016年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	73	98,612	17.57%	79	101,203	18.03%
外国法人等	592	105,370	18.77%	515	97,796	17.42%
個人・その他(注)	13,741	22,667	4.04%	16,396	25,295	4.51%
その他の法人	225	329,824	58.76%	265	332,740	59.28%
金融商品取引業者	30	4,836	0.86%	36	4,276	0.76%
合計	14,661	561,311	100.00%	17,291	561,311	100.00%
(単元未満株式の状況)	-	106	-	-	106	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2017年3月末429千株、2016年3月末428千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

(日本基準)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
1株当たり年間配当金(円)	40	40	42	46
配当性向(%)	53.6	49.4	59.6	45.7
(のれん償却前)	(43.2)	(40.5)	(47.6)	(38.8)
期末株価(円)	1,445	1,443	2,062	1,957
株式時価総額(億円)	8,112	8,101	11,576	10,987

(IFRS)	2015年度	2016年度	2017年度予想
1株当たり年間配当金(円)	46	52	66*
配当性向(%)	43.5	40.9	51.8
期末株価(円)	1,957	2,318	-
株式時価総額(億円)	10,987	13,014	-

*当社は、本年10月1日に発足10周年を迎えるにあたり、これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当を実施する予定です。

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗TNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2015年8月に腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病、2015年12月に川崎病の効能を追加し、2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量・投与間隔の短縮)について承認を取得した。なお、クローン病の用法・用量の追加(投与間隔の短縮)を申請中である。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得した。 オリジン:宇部興産</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に慢性心不全、2013年6月に頻脈性心房細動の効能をそれぞれ追加。 オリジン:(独)メルクセロー</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗TNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、2017年3月に潰瘍性大腸炎の効能を追加した。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポータに高い選択性を持つSSRIで、世界98か国の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得した。 オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。 オリジン:製造販売元:クレハ</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩和作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			

ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカールスカベンジャー(脳保護剤)
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカールスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p> <p>筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に日本で承認を取得した。同年12月に韓国、2017年5月に米国で承認を取得。</p>			
イムセラ	2011年11月発売	薬効	多発性硬化症治療剤
<p>多発性硬化症における神経炎症を抑制するファースト・イン・クラス薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用して、自己反応性リンパ球の中樞神経系への浸潤を阻止する。これまで注射剤に限られていた多発性硬化症の薬物治療に対し、経口投与(1日1回)が可能であり、患者さんの負担を軽減する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い当社では製品名「イムセラ」、ノバルティスファーマでは製品名「ジレニア」で販売されている。海外では、導出先のノバルティス(スイス)が欧州や米国など、80か国以上で承認を取得している。</p>			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
<p>既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
<p>麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
インフルエンザワクチン	1972年9月発売	薬効	インフルエンザの予防
<p>季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更された。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効	水痘及び50歳以上の者に対する带状疱疹の予防
<p>水痘(みずぼうそう)の予防に用いられるワクチンで、2014年に定期接種化された。また、2016年、50歳以上の者に対する带状疱疹の予防に関する効能・効果が承認された。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2016年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2016年 10月4日	抗アレルギー剤「ルパタジン錠」の販売基本契約締結のお知らせ
10月5日	Medicines for malaria Venture社との共同研究により田辺三菱製薬 医薬品化合物ライブラリーからマラリアの新規治療薬開発に向けたヒット化合物を同定ー 開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざしてー
10月6日	～女性活躍推進をみんなのアイデアで実現～Googleのプロジェクトでサポーター企業として自社のアイデアや活動を紹介
11月1日	Kolon Life Science社とのInvossaライセンス契約締結による田辺三菱製薬 細胞治療への挑戦ー 変形性膝関節症のアンメット・メディカル・ニーズに応える治療をめざしてー
11月4日	「産」と「学」の共同研究機会の拡大にむけて産学連携としては大規模な5万化合物を東京大学創薬機構へ提供ー アカデミアとの連携を強化し、画期的新薬の創製に挑戦ー
11月7日	合弁会社設立に関する基本合意のお知らせ
11月9日	ジェネリック医薬品 モンテルカスト錠 5mg/10mg「タナベ」【効能・効果】、【用法・用量】の一部変更承認取得に関するお知らせ
12月5日	平成28年度 研究助成の交付決定に関するお知らせ
12月8日	田辺製薬販売 ジェネリック医薬品 4成分6品目 新発売に関するお知らせーモンテルカスト錠 5mg/10mg「タナベ」、リルゾール錠50mg「タナベ」他ー
12月21日	ジェネリック医薬品 クロピドグレル錠 25mg/50mg/75mg「タナベ」【効能・効果】、【用法・用量】の一部変更承認取得に関するお知らせ
2017年 1月27日	自己免疫疾患治療剤MT-1303に関するバイオジェン社とのライセンス契約終了のお知らせ
2月3日	～炎症性腸疾患領域での戦略的な基盤強化～田辺三菱製薬は「ステララ」のクローン病適応についてヤンセンファーマとコ・プロモーション契約を締結
2月15日	ジェネリック医薬品 製造販売承認取得に関するお知らせ
2月27日	『多発性硬化症経口治療薬フィンゴリド塩酸塩の創製』第63回大河内賞「大河内記念技術賞」を受賞 受賞製品名：多発性硬化症治療薬「イムセラカプセル」
3月8日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」2017年度(第5期)助成先決定のお知らせ
3月21日	障がいのある方も働きやすい会社環境への取り組み 田辺パルムサービス株式会社 設立に関するお知らせ
3月27日	平成29年度 研究助成・海外留学助成 募集のお知らせ
3月28日	ジェネリック医薬品事業等の会社分割及び子会社の異動に関するお知らせ
3月29日	田辺三菱製薬と第一三共、糖尿病領域における戦略的提携を拡大 選択的DPP-4阻害剤「テネリア錠」、SGLT2阻害剤「カナゲル錠」に続き、2型糖尿病治療用配合剤「MT-2412」の販売提携契約を締結
3月30日	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「シンボニー皮下注50mgシリンジ(一般名:ゴリムマブ)」潰瘍性大腸炎に関する適応、及び剤型追加の承認について
4月17日	海外子会社MT ファーマ タイランドに関するお知らせ～アセアン地域における事業展開を強化～
4月24日	2型糖尿病治療剤「カナゲル錠100mg」台湾にて輸入販売承認取得
4月26日	業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ
4月27日	落語を楽しみながら大阪の歴史にふれる、「道修町たなみん寄席」が始まります！
5月8日	新しいALS治療の選択肢を 日本発で 米国の患者さんにALS治療薬「ラジカヴァ」の米国FDAによる承認取得について
5月9日	ワクチン製造の合弁会社「株式会社BIKEN」設立のお知らせ

